

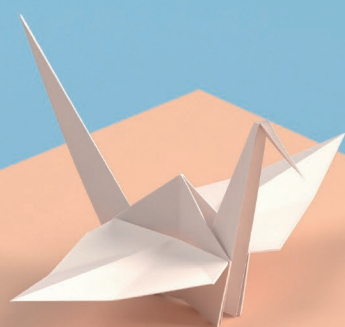
北九州市 平和のまちミュージアム「戦後80周年記念事業」

『平和へのプロジェクト』

序章 ～そして、未来へ～

戦後80周年という節目の年…
戦争の記憶を風化させることなく
平和の大切さや
命の尊さを継承していく

そして、未来へ



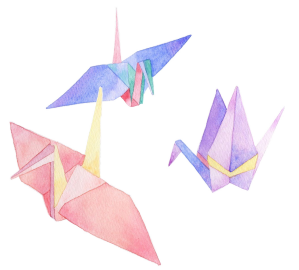
2025年

8月17日 日 J:COM北九州芸術劇場6F中劇場

北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11 リバーウォーク北九州内

プログラム

- 10:30～ 開 場
11:00～ 開 会
11:15～ 第1部 パネルディスカッション
12:30～ 昼休憩（舞台転換）
13:30～ 再入場
14:00～ 第2部 劇団東俳『激流ノ果テ —北九州特別公演—』
16:00頃 閉 会



第1部 パネルディスカッション

テーマ：「(仮)都市の文化・歴史、そして、未来へ繋がる平和活動」

先の大戦で市街地空襲を受けた都市等（広島・大阪・東京）の青少年を北九州市に招いて、各都市の戦時下の状況や現在の平和に関する取組みなどについてディスカッションし、未来への継承を考える。戦争の体験を共有し、若者たちの“活動”について広く発信することで、次世代への記憶の継承、地域を越えた連携など、平和の取組みの重要性を訴える。

劇団東俳からも2人参加



高橋 智也さん



村山 輝星さん

登壇者：全10名（福山市、堺市、国立市、北九州市の青少年、劇団東俳から各2名）
進 行：北九州市平和のまちミュージアム館長 重信幸彦

第2部 劇・若竹 第6回公演『激流ノ果テ —北九州特別公演—』

（株）劇団東俳（脚本・演出：高橋智也）／『第34回 池袋演劇祭』大賞受賞作品

舞台は、終戦間際の小倉（北九州市）。

『第34回池袋演劇祭』で

大賞を受賞した演劇作品『激流ノ果テ』を

戦後80周年の今夏、小倉の地で特別公演として上演。

戦争という激動の時代を描き出す。

〈ストーリー〉

ここは、太平洋戦争末期の北九州。

昨日も空襲があった。逃げ惑う人達の中、必死に小倉の高台を駆け上がった。

翌日、目を覚ました私は様々な事を忘れていた。

自分の名前も、小さい頃から面倒を見てくれた皆の事も、

昨日空襲に遭った事も…。

これは終戦間際を生きた“戦争を忘れた私”の記録。

